

平成 31 年 5 月 20 日

海外特別研究員最終報告書

独立行政法人 日本学術振興会 理事長 殿

採用年度 平成 29 年度

受付番号 27

氏 名

森岡 優紀

(氏名は必ず自署すること)

海外特別研究員としての派遣期間を終了しましたので、下記のとおり報告いたします。

なお、下記及び別紙記載の内容については相違ありません。

記

1. 用務地（派遣先国名）用務地： シアトル （国名： アメリカ ）
2. 研究課題名（和文）※研究課題名は申請時のものと変わらないように記載すること。
清末における近代的歴史叙述の形成：「叙述形式」からの考察
3. 派遣期間：平成 29 年 4 月 22 日 ～ 平成 31 年 4 月 21 日
4. 受入機関名及び部局名
ワシントン大学 アジア言語文学学部
(University of Washington: Asian Languages and Literature)
5. 所期の目的の遂行状況及び成果…書式任意 **書式任意(A4判相当3ページ以上、英語で記入も可)**
(研究・調査実施状況及びその成果の発表・関係学会への参加状況等)
(注)「6. 研究発表」以降については様式 10－別紙 1～4 に記入の上、併せて提出すること。

次の頁に添付。

1 課題の進行状況と成果

期間中に最も精力的に行ったのは、アメリカでの成果発表と国際ネットワークの構築である。主には次のようなテーマで発表を行った。

Pop Culture Associationにて、2018年3月に“The Role of Western Biography in East Asia—Along with the Emergence of Modern Society, Mass Media, and Pop Culture”の発表を行った。American Comparative Literature Associationにて、2018年3月に、“Biography Translation in Historical Context: George Washington's Biography in East Asia”を行った。

また、MALの2019年1月の学会にて、2回の発表を行った。

Historical Biography and International Reception, MLA: Adaptation before Cinema: Textual Transactions, Narrative Extensions, Translation and Literary Styleのパネルにおいて、“Adaption and Historical Texts in the Late 19th Century Japan: From Kusazoshi to Biography”のタイトルで発表した。

Translation and Adaptation in Modern Japanese Literary Production, Western biographies in Meiji-period Japan: Author as Translator:のパネルにて、“Translation and Literary Style: Western biographies in Meiji-period Japan.”のタイトルで発表した。

また、2019年3月のAAS学会にて、On the Borders of Culture, Society and History: Narratives of Yang Yi's Novelsのタイトルで発表を行った。

2 国際的ネットワークの構築

アメリカ滞在中に最も力を入れて行った事の一つに、人的なネットワークの構築である。アメリカで開催された学会、またシンポジウム、研究会等へ積極的に参加した。以下はその研究活動の具体的な内容である。

2018年～2019年に参加した講演会、シンポジウム、研究会等は以下の通りである。

Andrea Gevurtz Arai, (University of Washington, Department of Anthropology) "What do 'DIO' Creators and Heterotopic Spaces Want?: Toward an Anthropology of Assembly in Hyogo and Hannam (Genoa and Detroit)" March 2 2018

Christopher T. Nelson (University of North Carolina at Chapel Hill) "Phantom Japan: Okamoto Taro and the Anthropology of Sacrifice in Okinawa" with Christopher Nelson, University of North Carolina, May 10, 2018

Jang Wook Huh (University of Washington, Department of American Essenic Study)
"Translating Blackness in Colonial Korea " October 8,2018

John Whittier Treat,(Yale University) "The Rise and Fall of Modern Japanese Literature: What Happens Next", October 19, 2018

Paul S. Atkins (University of Washington, Department of Asian Languages' and Literature) , Washin Kai Lecture: "Friends from a World Unseen: Fujiwara no Teika and Medieval Poetry" October 25, 2018

Jack Stoneman (Brigham Young University), "The Meaning of Production and the Production of Meaning in Traditional Japanese: Poetry, Printing and Painting" November 1, 2018

W. Puck Brecher, (Washington State University) "Education and Individuality (kosei) in Meiji Japan: Promises and Problems" Jan. 17, 2019

Annmaria Shimabuku, (New York University)"Alegal: Biopolitics and the Unintelligibility of Okinawan Life" Jan. 22, 2019

Christine Marran, (University of Minnesota) "Japanese Literary Studies in an Age of Rising Seas" Feb. 4, 2019

Dani Rodrik (International Political Economy at the Harvard Kennedy School.)" Reinventing globalization" Feb. 13, 2019

Massimiliano Tomasi(Western Washington University), "Faith and Fate in Meiji and Taishō Literature"

Panel discussion "Challenges and Possibilities of Creating Inclusive Societies in Japan and the U.S. " Panelists: Makiko Deguchi (Sophia University, Tokyo, Japan),Ayako Takamori (University of California Santa Barbara), Jang Wook Huh(UW American Ethnic Studies), Andrea Gevurtz Arai,(UW cultural anthropology)

Jay Rubin "The Penguin Book of Japanese Short Stories" Feb. 25, 2019

Shiho Satsuka Mushrooms in Translation: Reassembling Science and Economy in Changing Ecologies Apr. 5, 2019,

Paul Barclay book talk on "Outcasts of Empire: Japan's Rule on Taiwan's "Savage Border," 1874-1945" Apr. 10, 2019

Ross Henderson,(University of Washington, The Department of Asian Languages and Literature) Washin Kai lecture "A Fistful of Incense: *Basara* and the Medieval Origins of Japanese Maximalism" Apr. 16, 2019

Zhaoguang Ge, (Fudan University) "Why We Have to Discuss 'What Is China?' Today" Apr. 18,2019

"Marking the Centenary Anniversary of the May 4th Movement":

"New Literature and Old Traditions" by Yan Dai

“From ‘Imperial Boundary’ to ‘National Territory’” by Zhaoguang Ge

上記の中で、本研究課題に対して多くの示唆を受けたのは、Jang Wook Huh "Translating Blackness in Colonial Korea", W. Puck Brecher, "Education and Individuality (kosei) in Meiji Japan: Promises and Problems"である。

Jang Wook Huh の発表は、20 世紀初頭の日本の植民地化に置かれていた朝鮮において、知識人がアメリカの「アンクル・トム・ケビン」を受容する際に、まず日本で翻訳された文献を通して受容した。しかし、翻訳される際には、翻訳者は当時の朝鮮人の状況を黒人奴隷がアメリカで置かれていた状況に擬えて翻訳した。西洋の文献がトランスナショナル的に拡散していく一つの例として興味深い例であり、また本研究課題も西洋の歴史書の中国における受容を取り扱っており、大変、示唆を受けた。

W. Puck Brecher, "Education and Individuality (kosei) in Meiji Japan: Promises and Problems"の講演会では、明治期において「個性」という言葉がどのような意味合いをもって使われたのかについて、当時の学生の成績表の分析を通して明らかにした。「個人」と「集団」の関わりというテーマは大きなテーマであるが、それが明治期の成績表の分析から導き出される所が興味深かった。また、当該研究との関連でいうと、日本の戦前に作られた伝記は模範的な人物の生き方を描く事で、若い青少年に模範的な生き方を教えるという意図で作成されており、教育現場でも伝記を実際に用いた教育がなされた。そのため、当時の学生評価が書かれた成績表がどのような基準で、青少年の人格を評価したのか、何を模範的な人物として考えたのか等の一連の考え方を知る事は、本研究に大変、有益であった。

3 史料の収集

派遣の一年間に行った史料の収集は以下の通りである。清末において、西洋書を漢文で翻訳した本で、収集できなかった文献をアメリカの図書館や、中国等から収集を行った。清末中国では多くの宣教師が活躍し、その 200 人以上の宣教師がなんらかの形で、文献を書き残して出版している。そのアメリカの図書館の所蔵に関するリストを入手した (*Inventory of the 19th Century Missionary Works in Chinese at the Asian Division, the Library of Congress, USA* 2008)。

宣教師の中で、特に中国に深い影響を与えた宣教師に、林樂知 (Young J.Allen:ヤング・ジョン・アレン) がいる。彼は清末に活躍したアメリカ人の宣教師であり、中国で雑誌を発刊し、かつ康有為、梁啓超などを始めとする中国進歩的知識人に多大な影響を与えた『万国公報』を編集した。また彼はただ単に雑誌を編集するだけではなく、彼自身も様々な分野に及ぶ雑誌記事、多くの本を書いている。そこで、彼が清末に書いた著作で入手可能な本を収集した。その他、林樂知 (Young J.Allen:ヤング・ジョン・アレン) 以外に、清末当

時、中国で行われた宣教師の活動や啓蒙活動について関連する先行研究で、主に 21 世紀に入ってから出版された先行研究の収集に努めた (*The formation of modern concepts of "civilization" and "culture" and their application during the late Qing and early Republican times* 2011) 等多数。特に、この中で当時の翻訳に関する論文を集中して収集した (Huang Li, *The formulation of translation policies during the late Qing period* 2012, Shao Yi *The Contribution of Shanghai Translation to Chinese Society* 2015 *Herbert Spencer Came to China: A Discussion of Translation History*. 2010 *ON THE TRANSLATION WORK OF FOREIGN NEWSPAPERS ACCOMPLISHED BY GEZHI XINPAO* 2017) 等多数。これらの先行研究を幅広く収集することで、清末中国における、西洋文化の受容状況と翻訳状況に対する理解がより一層進んだ。また、これらに加えて、清末と明治期 (1830 年代～1910 年代まで) に雑誌に掲載された伝記、および歴史関係記事を収集し、一覧表を作成した。一覧表を作成する事によって、各時期に掲載された歴史関連の記事がどのような傾向や特徴が見られるのかについて、分析を進めた。

派遣の 2 年間は、上述した Jack Stoneman (Brigham Young University), *The Meaning of Production and the Production of Meaning in Traditional Japanese: Poetry, Printing and Painting* の発表は、Brigham Young University に所蔵してある史料に基づいて行われたものであった。発表に参加した後に、Jack Stoneman 氏からその所蔵目録 (ブリガム・ヤング大学附属ハロルド・B・リー記念図書館 L・トム・ペリー特別文庫所蔵ハリー・F・ブルーニングコレクション目録) を送ってもらった。このコレクションは、ハリー・F・ブルーニングによる蔵書がハロルド・B・リー図書館が 1965 年頃に購入したものである。この蔵書には、アジア関係の貴重書が多く含まれており、世界の図書館でも数点しか所蔵されていない貴重書、また日本の図書館にも所蔵がない貴重書等もある。